

Fund Report

ファンド
レポート

『バリュー・ボンド』通信

バリュー・ボンド・ファンドの設定来の運用状況

バリュー・ボンド・ファンド(愛称:みらいの港)

<為替リスク軽減型>/<為替ヘッジなし>(毎月決算型)

<為替リスク軽減型>/<為替ヘッジなし>(年1回決算型)

<追加型投信/内外/債券>

平素は「バリュー・ボンド・ファンド(愛称:みらいの港)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
 今回の『バリュー・ボンド』通信では、ファンド設定日から2015年2月27日までの運用経過をご報告するとともに、今後の運用方針についてご紹介してまいります。
 今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

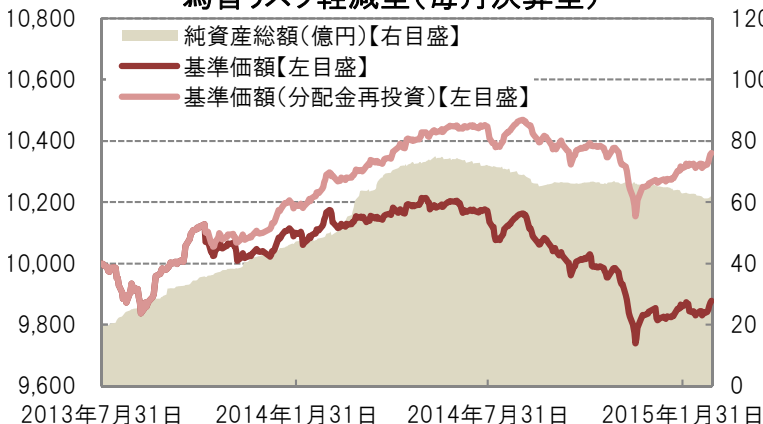
設定来のパフォーマンスはいずれのファンドでもプラスで推移

設定日から2015年2月27日までの各ファンドのパフォーマンス(基準価額(分配金再投資ベース))は、為替リスク軽減型(毎月決算型・年1回決算型)で組入債券のパフォーマンスが総じて良好だったことを背景にそれぞれ約3.6%の上昇となっております。また、為替ヘッジなし(毎月決算型・年1回決算型)は上記要因に加え、為替市場で円安が進んだことが寄与し、約26%の上昇となりました。

次頁以降では、設定来の市場環境および当ファンドの運用状況、今後の運用方針についてご案内してまいります。

基準価額の推移(期間:2013年7月31日(設定日)~2015年2月27日)

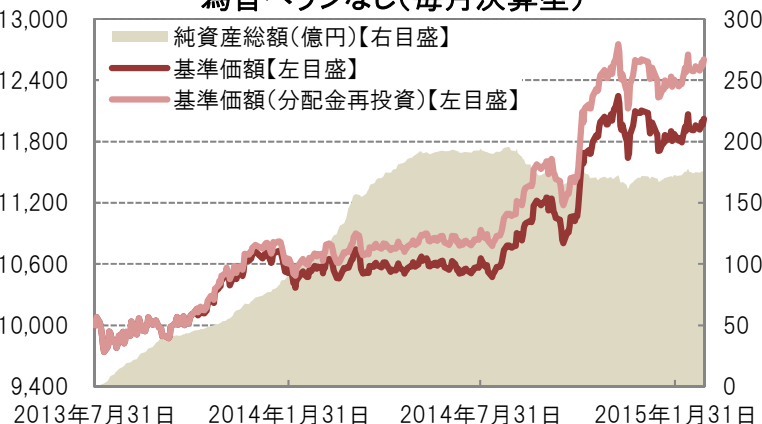
為替リスク軽減型(毎月決算型)



分配金 各30円

(2013年11月~2015年2月、1万口当たり、税引き前)

為替ヘッジなし(毎月決算型)



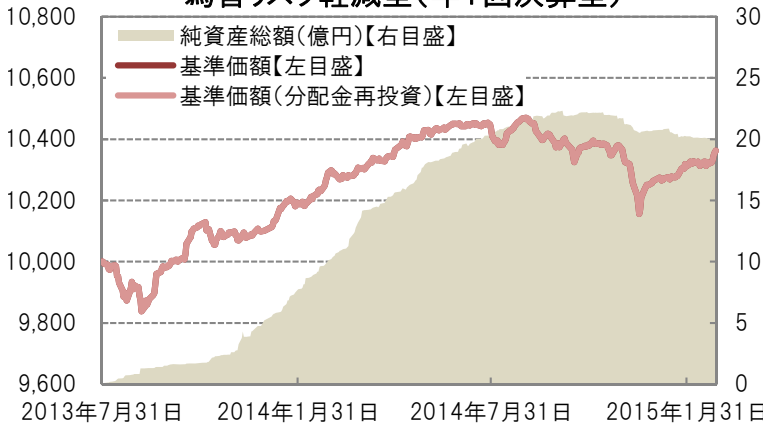
分配金 各30円

(2013年11月~2014年10月、1万口当たり、税引き前)

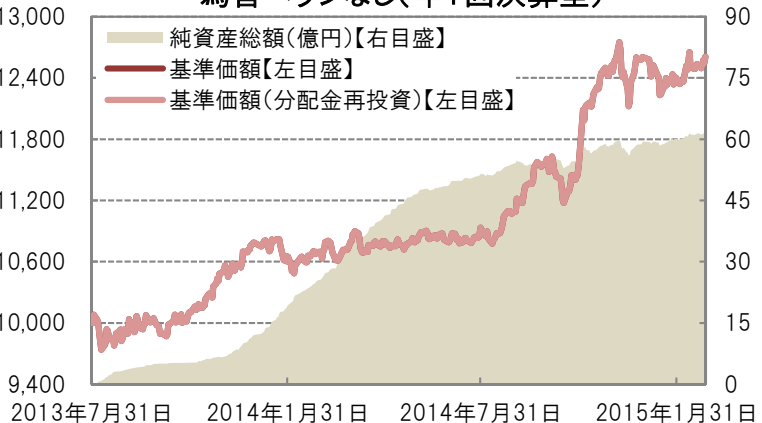
分配金 各40円

(2014年11月~2015年2月、1万口当たり、税引き前)

為替リスク軽減型(年1回決算型)



為替ヘッジなし(年1回決算型)



■基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。

■基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。

■基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■運用状況によっては、分配金が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ファンド情報ご提供資料

ファンド
レポート

『バリュー・ボンド』通信

バリュー・ボンド・ファンドの設定来の運用状況

ファンド設定後の債券・為替市場動向

ファンド設定日(2013年7月31日)以降の米国では、2014年にFRB(米連邦準備制度理事会)による量的金融緩和政策が終了、2015年の政策金利の引き上げが視野に入ってくる状況となりました。一方で、東欧における地政学リスクの高まりや原油価格の下落等を背景に、市場では世界経済の先行きに関して慎重な見方が強まる局面もありました。このような状況の中、米国10年国債利回りはおおむね低下(債券価格は上昇)基調での推移となりました。

一方、米ドル建て債券のクレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)は、原油価格急落を背景にリスク回避的な動きが強まったことで、2014年末にかけて急上昇したものの、2015年に入り落ち着きを見せ始めています。また、米ドル/円レートは、2014年に入り1米ドル100~105円程度の水準での推移が続いていましたが、2014年10月の日銀の電撃的な追加金融緩和政策の発表を受け、2014年11月以降大きく米ドル高円安が進行しました。2015年に入ると米ドル高円安の流れは一服し、1米ドル115~120円程度の範囲で推移しています。

(出所)パイオニア・インベスツメント社のコメントより三菱UFJ投信作成

米国10年国債利回りと米ドル建て債券指数のスプレッド

(期間:2013年7月31日~2015年2月27日)

日付	米国10年国債利回り【左軸】 (%)	米ドル建て債券指数スプレッド【右軸】 (%)
2013年7月31日	2.5	0.9
2014年1月31日	2.5	0.8
2014年7月31日	2.5	0.8
2015年1月31日	1.5	0.9

米ドル/円レートの推移

(期間:2013年7月31日~2015年2月27日)

日付	米ドル/円レート (円)
2013年7月31日	98
2014年1月31日	100
2014年7月31日	102
2015年1月31日	118

(出所)パークレイズ社、ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

各債券のパフォーマンス(米ドルベース)

(期間:2013年7月末~2015年2月末)

債券種別	パフォーマンス (%)
米国国債	5
米国地方債	11
米国モーゲージ証券	7
米国投資適格社債	11
バンクローン	5
米国ハイイールド社債	10
米ドル建てエマージング債券	11
米国転換社債	25

※各債券種別の特徴等に基づいて分類したものであり、景気局面別の値動きを保証するものではありません。

(出所)パークレイズ社、BofAメリルリンチ社、ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

■上記は、過去の実績・状況です。本見通しのない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。■上記は指数を使用しています。指数については【当資料で使用している指数について】をご覧ください。■計測期間が異なる場合は結果も異なる点にご注意ください。

※後記の「当資料に関するご注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

2/8

三菱UFJ投信
MUFG

ファンド設定後の運用戦略

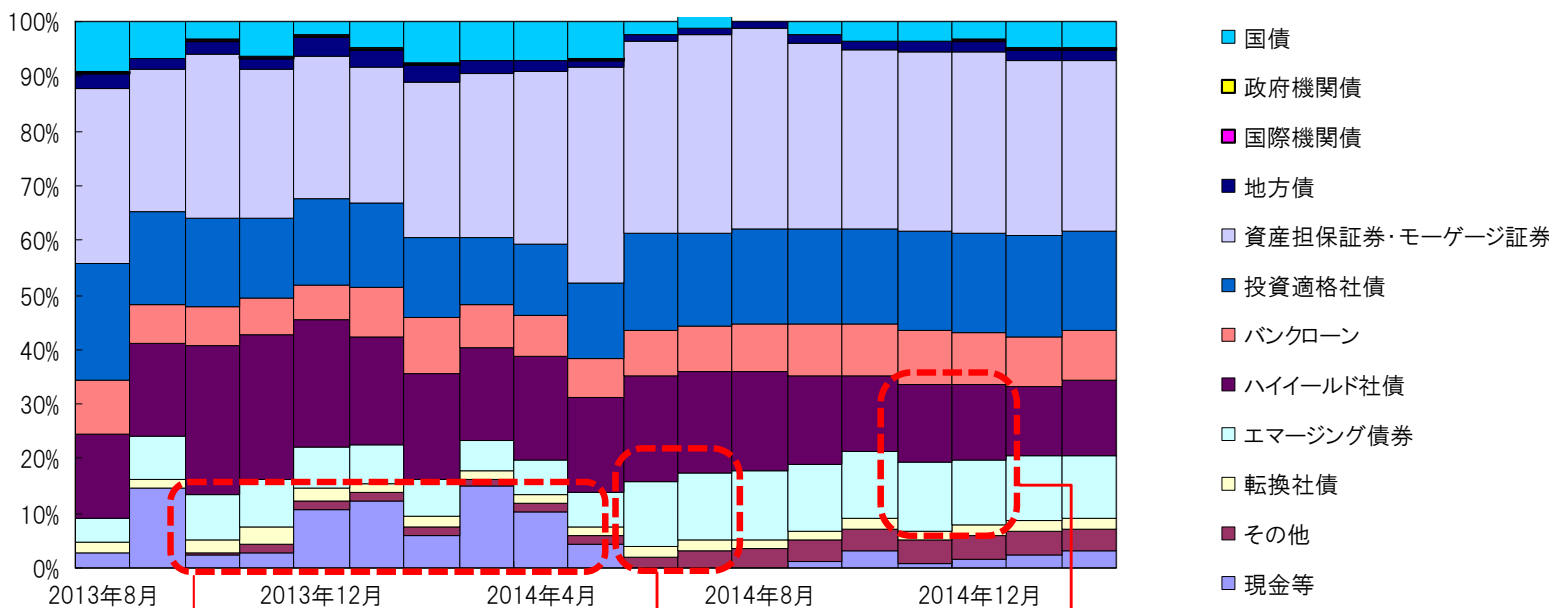
当ファンドでは、外国投資信託を通して実質的な運用を行っています。運用期間を通じて長期的な上昇が見込めるバリュー債券(割安度が高い債券)を中心に投資を行いました。具体的には、景気回復局面が続くと見通しのもと、ハイイールド社債やバンクローン等への投資を多めとした一方、国債等への投資を少なめとしました。また、転換社債については、株価上昇の恩恵を受けやすく、債券対比で魅力的と考えられる銘柄を戦略的に組み入れました。投資適格社債の格付配分では、AAA格への投資を少なめとする一方、BBB格の組入れを多めとしました。また、米国の政策金利引き上げ見通しの高まりから、デュレーションは短めの水準を維持しました。

上記のような運用を行うなか、各債券のパフォーマンスが総じてプラスだったことが、各ファンドの基準価額の上昇に寄与することとなりました。

(出所)パイオニア・インベスメンツ社のコメントより三菱UFJ投信作成

債券種類別構成の推移

(期間:2013年8月~2015年2月)



2013年10月末~2014年5月
債券価格下落のタイミングで投資を行うために、現金等を高位に維持

2014年6月~2014年7月
ウクライナ問題などで値下がりし、割安感が増したエマージング債券の組入比率を引き上げ

2014年11月~2014年12月
原油価格急落に伴う値下がりにより低下したハイイールド債券、エマージング債券への投資比率を維持するため、これらの債券を買い増し

運用期間を通じて
レンジ相場で期待リターンが高く、かつ割安なモーゲージ債券の組入比率を高位に維持

- ・比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。
- ・債券セクターは、パークレイズ社の分類を採用、分類されていない場合はパイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクによる独自の分類を採用しています。
- ・表示のセクター以外の債券がある場合は、「その他」に分類しています。

上記は、原則として実質的な投資を行う外国投資信託「マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジ クラス/JPYノンヘッジ クラス」の状況を、運用会社であるパイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インク等の資料(現地月末日前営業日基準)に基づいて三菱UFJ投信が作成したものです。

(出所)パイオニア・インベスメンツ社のデータより三菱UFJ投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。






今後の見通し・運用方針について

当ファンド設定から約1年半が経過しましたが、「米国の景気回復を受けて企業業績の回復が進むとともに、米国の政策金利が引き上げられる」という当初の見通しに大きな変化はありません。引き続き、堅調に推移する米国経済を背景として、米国金利が上昇しやすくなっている環境下、当ファンドにおいては将来の金利上昇リスクを考慮し、デュレーションは短めの水準を維持します。一方、米国の景気回復と日・欧をはじめとする金融緩和政策は、企業の良好なファンダメンタルズと低水準のデフォルト(債務不履行)率をサポートし、クレジットスプレッド(国債に対する上乗せ金利)の縮小に寄与すると予想しています。そのため、景気回復局面に優位なハイイールド社債、バンクローンは引き続き多めに組み入れる方針です。エマージング債券については、相対的に高い成長率と低い債務水準、豊富な労働力等を背景に、中長期的には投資家にとって魅力的な投資対象と考えますが、短期的には、足下の景気動向等に注意しつつ投資対象国を選別してまいります。債券種別の銘柄選択に当たっては、徹底的な調査・分析の下、良質な債券等を割安な水準で組み入れることをめざします。また、金利サイクルや市場環境の変化等に応じて債券種別の投資比率を機動的に変更していく方針です。

(出所)パイオニア・インベストメンツ社のコメントより三菱UFJ投信作成

債券種別予想

現在の市場見通しの下で今後魅力的と考える債券種別についてお天気マークで表示しています。

米国国債	米国地方債	米国モーゲージ証券	米国投資適格社債	バンクローン	米国ハイイールド社債	米ドル建てエマージング債券	米国転換社債
							
		(※)				(地域によっては)	

※米国国債・米国地方債に比べ魅力的と判断

<当資料で使用している指数について>

■バークレイズ米ドル建てユニバーサルインデックス

バークレイズ米ドル建てユニバーサルインデックスとは、バークレイズが算出する投資適格格付けと投機的格付けの債券を合わせた米ドル建ての債券市場の値動きを表す指数です。

■バークレイズ米国国債インデックス

バークレイズ米国国債インデックスとは、バークレイズが算出する米国の国債の値動きを表す指数です。

■バークレイズ米国地方債インデックス

バークレイズ米国地方債インデックスとは、バークレイズが算出する米ドル建ての地方債の値動きを表す指数です。

■バークレイズ米国MBSインデックス

バークレイズ米国MBSインデックスとは、バークレイズが算出する米国のモーゲージ証券の値動きを表す指数です。

■バークレイズ米国社債インデックス

バークレイズ米国社債インデックスとは、バークレイズが算出する米ドル建ての投資適格社債の値動きを表す指数です。

■バークレイズ米国ハイイールド・ローン・インデックス(パフォーミング)

バークレイズ米国ハイイールド・ローン・インデックス(パフォーミング)とは、バークレイズが算出する米ドル建てのバンクローン(デフォルトを除く)の値動きを表す指数です。

バークレイズの算出するインデックスについて

上記バークレイズ・インデックスは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーおよび関連会社(バークレイズ)が開発、算出、公表をおこなうインデックスであり、当該インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズに帰属します。

■BofA Merrill Lynch USハイイールド マスター II コンストレインド インデックス

BofA Merrill Lynch USハイイールド マスター II コンストレインド インデックスとは、BofA Merrill Lynch社が算出する米国のハイイールド債券の値動きを表す指数です。

■BofA Merrill Lynch 米国転換社債 インデックス

BofA Merrill Lynch 米国転換社債 インデックスとは、BofA Merrill Lynch社が算出する米国の転換社債の値動きを表す指数です。

■JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の債券発行残高に応じて構成比率を調整した指数です。同指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

■上記は、過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

ポートフォリオの状況(2015年2月27日時点)

ポートフォリオの状況は、原則として実質的な投資を行う外国投資信託「マルチ セクター バリュー ボンド ファンド - JPYヘッジド クラス/JPYノンヘッジド クラス」の状況を、運用会社であるパイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インク等の資料(現地月末前営業日基準)に基づいて三菱UFJ投信が作成したものです。

◆ポートフォリオ特性値

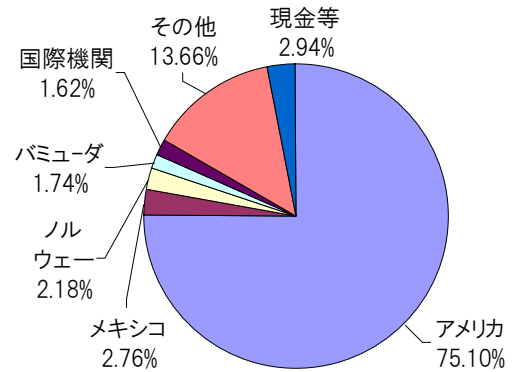
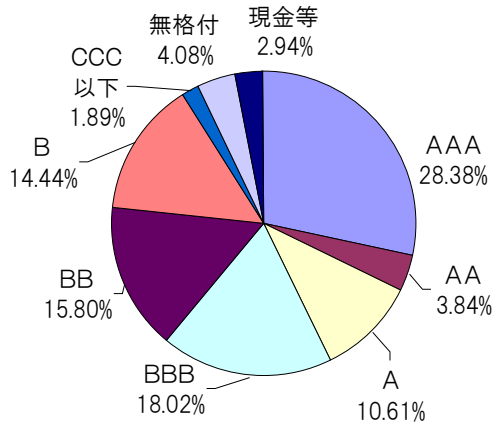
最終利回り	3.97%
直接利回り	4.59%
平均残存年数	7.32年
デュレーション	3.52年

- ・ポートフォリオ特性値は、実質的な投資を行う外国投資信託ベースです。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・最終利回り、デュレーションは債券先物を含めて計算しています。
- ・平均残存年数は、各債券等の残存年数を加重平均したものです。
- ・原則として、直近の繰上償還可能日を基に算出しています。

◆格付分布

平均格付	BBB+
------	------

◆組入上位5カ国

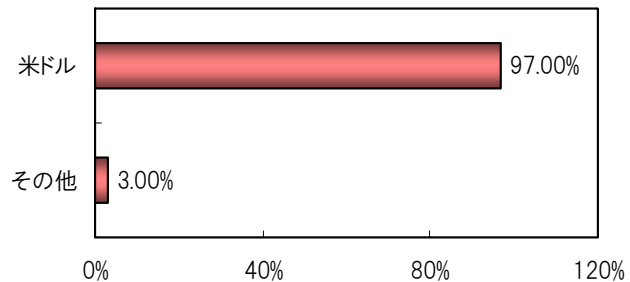
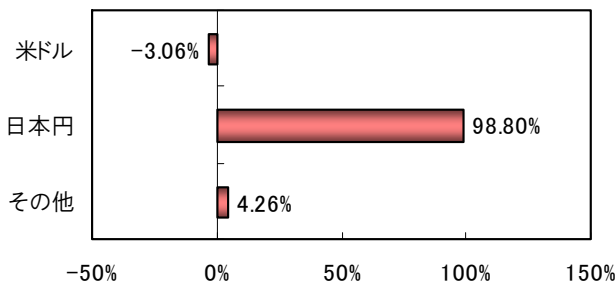


- ・実質的な投資を行う外国投資信託が保有する債券等の格付分布を表示しています。
- ・格付分布比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する割合です。
- ・格付の表示にあたっては、S&P社、Moody's社の2社のうち最も高い格付を表示しています。
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、無格付としていますが、パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクにおいて独自の格付判断に基づき投資したものです。
- ・平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。
- ・組入上位5カ国の比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する国別の割合です。
- ・国名は、パークレイズ社の分類を採用、分類されていない場合はパイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクによる独自の分類を採用しています。

◆通貨別構成比

JPYヘッジド クラス
(為替リスク軽減型の外国投資信託)

JPYノンヘッジド クラス
(為替ヘッジなしの外国投資信託)



- ・実質的な投資を行う外国投資信託が保有する資産の通貨別構成比(各通貨でのキャッシュ含む)を表します。
- ・「為替リスク軽減型」において日本円は、米ドル売り円買いの為替取引考慮後の値を表示しています。
- ・「その他」は米ドル、日本円以外の通貨であり、米ドル売り円買いの為替取引によっては、マイナスとなる場合があります。

■上記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

バリュー・ボンド・ファンド(愛称:みらいの港)

＜為替リスク軽減型＞／＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型) ＜為替リスク軽減型＞／＜為替ヘッジなし＞(年1回決算型)
 ＜追加型投信／内外／債券＞

ファンドの特色

1. 新興国を含む世界の米ドル建てを中心とする公社債等を実質的な主要投資対象とします。
 ●主として円建外国投資信託への投資を通じて、世界の米ドル建てを中心とする公社債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。
2. 投資にあたっては、経済、金利および政策動向に関する見通しに基づいて、債券種別の配分比率を変更します。
3. 「為替リスク軽減型」と「為替ヘッジなし」の2つからお選びいただけます。※
 ●「為替リスク軽減型」は、原則として、投資する円建外国投資信託において、当該外国投資信託の純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同程度程度の米ドル売り円買いの為替取引を行い、為替変動リスクの低減を図ります。
 ●「為替ヘッジなし」は、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。
4. 「毎月決算型」は毎月6日、「年1回決算型」は毎年4月6日、毎決算時(休業日の場合は翌営業日)に収益分配を行います。※
 ●原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
5. 投資対象とする円建外国投資信託は、パイオニア・インスティテューショナル・アセット・マネジメント・インクが運用を行います。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

※販売会社によっては、取り扱わないファンドがある場合があります。くわしくは販売会社にご確認ください。

投資リスク

■当ファンドの主なリスク

主な投資リスクとして、組入公社債の価格変動リスクや為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等があります。

- 価格変動リスク**
金利変動により組入公社債の価格が下落することがあります。
- 為替変動リスク**
外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。
- 信用リスク**
組入公社債の発行者の倒産や債務状況の悪化等の影響により組入公社債の価格が下落することがあります。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価格の下落により損失を被り、資金元金を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料に関するご注意事項等

- 当資料はバリュー・ボンド・ファンドの運用状況についてご紹介することを目的に三菱UFJ投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。

お客様にご負担いただく費用

お客さまが直接的に負担する費用		お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
購入時	購入時手数料	保有期間中	運用管理費用(信託報酬)
	信託財産留保額		その他の費用・手数料
	購入価額× <u>3.24%(税抜3%)</u> (上限) 購入時手数料は販売会社が定めます。 詳しくは販売会社にご確認ください。		当該ファンド:純資産総額×年1.1664%(税抜 年1.08%) 投資対象とする投資信託証券:年0.6% 実質的な負担: <u>年1.7664%(税込)</u> ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率(上限値)を算出したものです。
	ありません。		売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

＜ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。＞

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社	設定・運用・・・三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。	加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

販売会社情報一覧表

ファンド名称: バリューストック・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>/<為替ヘッジなし>(毎月決算型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 青森銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 東北財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号	日本証券業協会
株式会社 イオン銀行 (為替リスク軽減型のみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	日本証券業協会
株式会社 沖縄銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 神奈川銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第55号	日本証券業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
株式会社 千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
株式会社 北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会

販売会社情報一覧表

ファンド名称: バリュースコア・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>/<為替ヘッジなし>(年1回決算型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 あおぞら銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第8号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 足利銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第43号	日本証券業協会
株式会社 伊予銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	日本証券業協会
株式会社 岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
株式会社 沖縄銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 沖縄総合事務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 神奈川銀行 (為替ヘッジなしのみ取扱)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第55号	日本証券業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 山陰合同銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 十六銀行 (為替リスク軽減型のみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 常陽銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第45号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	日本証券業協会
株式会社 千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 中京銀行	登録金融機関 東海財務局長(登金)第17号	日本証券業協会
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	日本証券業協会
株式会社 北海道銀行	登録金融機関 北海道財務局長(登金)第1号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会/一般社団法人金融先物取引業協会